

2012年4月2日

2012年IEEE広島支部第1回理事会議案書

日時: 2012年4月2日(月) 14:30-16:30
場所: 広島オフィスセンター 4F 第13会議室
〒732-0805 広島市南区東荒神町 3-35
TEL: 082-263-8600

参加者 (議決権保有者数) : 13名
堀田、舟阪、田岡、大久保、市村、田村、福島、山本(真)、
平川、紀和、近藤、山本(透)
(委任状: 上土井)

報告

1. 2012 IEEE R10 Meeting 報告

詳細や発表資料は右記: <http://ewh.ieee.org/reg/10/Reports/meetrep/meetrep2012.html>

上記について、堀田支部長が主な事項として下記について説明した。

- **L50** ベースでの5年間の収支を平均し、実運営額の2倍を超える繰り越し金がある場合、本部に超えた金額を戻し、再配分する事が検討されている。当面、広島支部では問題は無い。
- 役員や委員は **Volunteer** としての仕事で有る事を考慮すれば、**IEEE** 関連の役員や委員として従事できるのは連続3期(6年)程度までを目途とし、その後、1期(2年)は空ける事が望ましい。

2. 2012年第1回 Japan Council 理事会報告

[資料1]

上記について、別紙配付資料をもとに堀田支部長が説明した。補足として以下を説明した。

- **Section** 支援費を2期に分ける意味は、年度の途中で予算がなくならないようにするため。
- **Section Student Branch** (山口大学ブランチのみ) を **HISS** に絡めると良いかもしれないが、前者は **IEEE** 会員に限るので検討が必要。
- 次回の **Section Congress** は東京の予定。
- 女性会員は **Member/Fellow**: 8名、その他(学生等): 4名

議題

1. IEEE 広島支部 2012年総会議事録の確認

[資料2]

堀田支部長が説明し、承認された。

2. IEEE 広島支部 2012年活動計画について

[資料3]

堀田支部長が説明し、承認された。

補足：Senior Member が支部に属していると一人当たり数ドル支部に入る。

3. 選挙管理委員長選出

役員は委員になれないことを確認し、各県で1名ずつ選出するようにしているようなので、下記の通り決定した。

選挙管理委員長：田村理事

選挙管理委員：山本(真)理事、紀和理事、近藤理事、山本(透)理事

4. Educational Activity Chair の選出 (R10 からの要請) [資料 4]

堀田支部長が Educational Activity の趣旨（将来または現在に学生会員となるような人を発掘する）について説明し、Chair として紀和理事を推薦することを決定した。

5. セクション支援費の申請圧縮依頼について [資料 5]

堀田支部長が説明した。

6. 第 14 回 HISS の開催日と開催会場について [資料 6]

福嶋理事が説明し、下記を決定した。

- ・ 開催期間や部屋の決定は、実行委員会（学生）に決定してもらう。
- ・ 期間の第 1 候補は 11/17, 18、第 2 候補は 11/10, 11 とする。
- ・ ポスター会場として体育館を使うと予算が足らなくなるので、教室を使う案を第 1 候補とする。

7. HISS 実行委員の募集

支部内に自薦、他薦の案内を送付する。4/20 ごろを募集締め切りとする。なお、例年通り、主に他薦の場合、学校ごとに 3 名程度（次の主催校は 8 名まで）にすること確認した。

8. H25 年度の HISS 開催場所検討

- ・ 鳥取大学が第一候補

H25 年度の HISS は鳥取大学で開催することを決定した。

9. HISS の投稿論文について

- ・ 発表論文を大学図書館等のリポジトリに置くには著者の許諾が必要。論文集冊子や CD-ROM 等の出版物を図書館に寄贈することには著作権の処理は不要。著作権が問題になるのは、個々の利用者が資料を複製したり著作物を転載したりする場合。図書の全頁複製や写真の転載などには著作権者の許可が必要。
- ・ 国会図書館に寄贈は？

田岡庶務幹事が、過去の論文のコピー依頼があったので、本議題を挙げたことを説明した。以前、国会図書館への寄贈を試みたことがあったが、ISBNが必要ということで断念したことがあった。ISBNではなくISSNを取得すれば（雑誌としての扱い）可能なはずという意見が出た。

10. 理事会開催方法と開催地について

- ・ 第二回：5月～6月中旬（第1回 HISS 実行委員会の際、岡山県立大学）
- ・ 第三回：8月末～9月初旬（鳥取大か島根大）
- ・ 第四回：11月 HISS 開催期間中（岡山県立大学）

上記の通り決定した。なお、第三回は鳥取大学（予備：島根大学）で開催する。

11. 電子メール、電話等による遠隔からの会議参加について

会議の開催時間帯に、電子メールをチェックできるなど、審議に加わることができる状態になっていれば会議に参加していることにする。

上記の通り決定した。なお、今回はメーリングリストを用いメールで連絡したが、IEEE のツール等を利用し、より良い方法を検討する必要がある。

【資料 1】

2012 年度 JC 理事会(3/29/12@東京)要点報告

- Award Committee の役割について

本来は、日本国内より本部 Award 受賞者のノミネートを継続的に行うために設立した。本年度より、JC および各支部・チャプタ内に Award 担当(広島支部では Award Committee Chair)を置き、支部内における受賞の可能性がある会員を調査し、受賞候補になり得るものが居れば、直接または JC を通事、本部 Award 窓口となる人物にコンタクトをとる。(日本人の方で窓口になっている方が結構います)

- Section 支援費の規模縮減

昨今の円高の影響で、JC および日本国内の支部・チャプタで本部支援費が激減している。これに基づき JC の Section 支援費に関して調査した結果、昨年並みの支援費支出では赤字が出る可能性がある。(円高基調がそのまま続けば特に)

そこで、Section 支援費の申請を年度内で 1～6 月、7～12 月に 2 分割し、各期の総額を ¥750,000 に抑える(年間予算額は ¥1,500,000)。また、¥77/ドルで試算した予算内配分を行うには、各支部・チャプタは昨年度ベースの 57.7%で支援要請を行ってほしい。最終的に予算が残った場合には再分配する。

広島支部も HISS の Section 支援費を昨年は ¥400,000 頂いていたが、上記の割合で試算すると、24 万円弱となる。また、近隣支部長との話し合いで、上記の後期に申請を行った方が良いであろうとの事であった。そこで、本年は支援費を 7 月申請、8 月受領に向けて準備したい。

(案) CD プレス代金、ポスタ作成印刷代金として ¥250,000 を申請し、9～10 月に HISS 内で行われる研究賞表彰として ¥80,000 申請してみてもどうでしょうか？後者はこれまで申請していなかったので通るかどうかはわかりません。

- Section Student Branch について

現在、広島支部内には山口大学学生ブランチしかない。学生ブランチは大学や高専等学校単位が基本ではあるが、Student Activity Committee(SAC)の Bylaw によると、地域内(R10)で承認されれば支部直下に Student Branch を置く事が出来るようである(四国支部よりの提案の回答；現在も確認中)。そこで、広島支部としても、Section 直下に Student Branch を設置しては如何でしょうか？なお、既存の山口大学ブランチは Hiroshima Branch の派生と考え(歴史的なものの調整が必要)、今後、学生ブランチを形成する事が可能な大学が出てくれば、広島学生ブランチから独立するという方向性で如何でしょうか？

- IEEE Student Branch Leadership Training Workshop(SBLTW)について

昨年度は 11 月に熊本大学で開催(山口大学ブランチは出席)。今年は明治大学が幹事行となり秋に開催予定。

- Section Congress に対する対応

3 年に一度開催される世界規模の集会であり、今年は 8 月に SF で開催され、舟阪副支部長が出席した。次回は日本国内と記憶しているが、IEEE からは旅費補助が非常に少額である。次回に国外で開催される Section Congress に向けて、毎年少しづつの積

み立てを行っておいた方がよいのではないか？

- 支部繰越金について

広島支部は現状では問題はないが、過去 5 年間 (L50 により計算) の繰り越し平均額が実質運営額の 200%を越える場合には、繰越金の返還・他支部への再分配を行う可能性がある。なお、繰越金の適正額は実質運営費 (収入－繰越額) の 1/2 程度であろう (JC 担当者談)

- IEEE R10 Women In Engineer(WIE)

現在は、WIE の Affinity Group は札幌支部と JC 以外の日本国内支部は持っていないが、その形成に向けた努力要請があった。

R10 WIE は Fund を持ち、R10 内で開催される WIE 活動に対して各 US\$400 を提供している。

現在も各支部に WIE 活動のプロポーザルを提出するように依頼している(3月末締)。11/19-22 にフィリピン、セブ島で開催される TENCON2012 において、WIE オーガナイズドセッションを計画。同発表内で R10 WIE Best Paper Award を授与する予定。積極的な TENCON 参加と WIE Award への応募の要請があった。

- TENCON2012 について

Nov. 19-22, 2012 に Cebu, Philippines で TENCON2012 が開催される。積極的な論文投稿や参加の依頼があった。

【資料 2】

2012 年 IEEE 広島支部総会議事録

期日：2012 年 1 月 23 日（月）13：30-14：30

会場：広島市立大学情報科学部別館 6F 交流ラウンジ

参加者：正会員出席者 14 名、委任状 42 通（会員 376 名）

議長選出：

広島市立大学 永山忍氏に議長を御願いし、承認された。

総会成立：

参加者 14 名、委任状 42 名により総会成立を宣言した。

議題：

- ・ 2011 年事業報告及び会計報告

2011 年の事業報告を田岡庶務幹事が説明し、承認された。

2011 年の決算報告を大久保会計幹事が説明し、大田査委員が監査結果を報告し、承認された。

第 13 回 HISS の収支報告案について、収支の確定が遅れていることを堀田支部長が説明し、確定後、支部ホームページに掲載することを報告した。

- ・ 2011 年 SMC セクションチャプター報告

SMC 市村 Chair より 2011 年事業報告および会計報告を行い、承認された。

- ・ 2012 年事業計画及び予算案

堀田支部長が事業計画案を説明し、承認された。

大久保会計幹事より予算案が示され、承認された。

- ・ IEEE 広島支部功績賞選定委員会の設置

堀田支部長が IEEE 広島支部功績賞選定委員会の設置について説明し、

選定委員長 堀田昌志、選定委員 舟阪淳一、田岡智志、大久保賢祐、

上土井陽子、紀和利彦、近藤克哉、田村慶信、福嶋丈浩、山本透、山本真義、

平川正人とすることが承認された。

表彰：

・ 第 13 回広島支部学生シンポジウム HISS 各賞表彰

堀田支部長より、下記の各賞に関して、賞状、副賞等の授与が行われた。

特別貢献賞

村上祐一(広島大学)、野口敬太(広島大学)

貢献賞

小林秀次, 長安宏樹, 岩崎剛士(岡山県立大学)

瀬島孝太(岡山大学)

三浦陽祐(近畿大学)

一ノ瀬祐樹, 田中勇作(鳥取大学)

坪島知也, 勝部潤, 杉山智大, 林和貴(広島市立大学)

奥本政彦, 小林良平, 間島佑貴, 林利典, 池本佳史, 野口威, 花田英人(広島大学)

渡邊駿(山口大学)

小松弘和(近畿大学)

功労賞

秋吉朝久(広島大学)

鈴木悠太, 森星弥, 三浦史也, 古賀健一, 祇園大輝(岡山県立大学)

小森達也, 直野英夫, 澤井勇人(岡山大学)

西岡孝明, 六車英峰(近畿大学)

眞鍋準次, 岡田誠流, 別所正昭, 松金宏樹, 中元康博, 原田洋輔, 三倉将太, 高橋幸司
(広島市立大学)

久留島智博, 長尾勇氣(広島大学)

村上貴俊, 廣川貴之, 馬場雄介, 久保田健介, 山本友基(山口大学)

坂口恭平, 永田竜也, 南野友香, 山下晃平, 川上優, 花田純一, 中田智士, 山川純平, 村上元太(鳥取大学)

河野研太, 山口竜二, 永塚学, 吉国厚(島根大学)

藤田慎太郎, 入江俊朗(福岡大学)

【資料3】

2012年IEEE広島支部事業計画（案）

(1) 総会

2012年1月23日（月）（於 広島市立大学情報科学部別館交流ラウンジ）

参加者：正会員出席者14名、委任状42通（会員376名）

- ・ 2011年事業報告及び会計報告
- ・ 2011年SMC セクションチャプター報告
- ・ 2012年事業計画及び予算案
- ・ IEEE 広島支部学生シンポジウム HISS 各賞表彰

(2) 事業

- ・ 特別講演会（総会終了後） 1回
『SKYACTIV TECHNOLOGY とその誕生を支えたモデルベース開発』
原田 靖裕氏（マツダ株式会社）
- ・ 講演会や意見交換会： 主催：5回，協賛・共催・後援等：4回
[共催]
 - ① 第44回通信ネットワーク工学科(岡山大学)特別講演会
『心をかよわす話し方』（2012.1.18 開催済）
講師：坂口智美氏
参加者：100名（内IEEE 会員3名）
[後援]
 - ② 講演会@広島市立大学
“Empirical Data-Driven Modeling for Dependability Enhancement”
Speaker: Prof. Mirosław Malek (ドイツ・フンボルト大学)
(2012. 3. 12 開催)
 - ③ 国際会議@沖縄県男女共同参画センター ているる
The Third International Conference on Networking and Computing
(ICNC'12) (2012. 12. 5～7 開催予定)
- ・ IEEE 広島支部学生シンポジウム（HISS@岡山県立大学）1回
- ・ 広島支部功績賞の選定・表彰
- ・ 学生員支援・功績賞など，支部会員へのサービス活性化
- ・ Society Chapter や学生会の充実
- ・ Senior Member への Membership Upgrade の推進
- ・ 英語版支部ホームページの整備

(3) 理事会

第1回 活動計画と学生シンポジウムの準備について 他（4月開催予定）

第2回 役員選挙，学生シンポジウムの準備，支部功績賞について 他
（6月開催予定）

第3回 役員選挙，会員支援，支部活動活性化，学生シンポジウムの準備について 他

（9月開催予定）

第4回 支部活動活性化と2013年度活動計画策定について 他
(HISS開催期間中を予定)

(4) その他

- ・ 広島支部 2013-2014 年度役員選挙の実施
- ・ 関連学会開催講演会や研究会等との協賛・後援活動の活性化
- ・ IEEE 広島支部学生シンポジウムの他支部との連携を強化
- ・ IEEE 広島支部 10年間の歩みに関する記録等の収集

【資料6】

第14回 HISS の開催日と開催会場について

・開催期間の検討

第1候補：11月17日（土）、18日（日）

第2候補：11月10日（土）、11日（日）（10日は岡山県の文化フォーラムが講堂で開催）

・開催会場の検討（会場の位置と広さは別紙を参照）

TP会場は、岡山県立大学が所有する幅1.5m、高さ2.1mのエコボード（ダンボールの板）を両側から長机で挟んで設営する。

第1案

- 学部共通棟南2階 8206 講義室（300人教室）

開会式、基調講演やパネルディスカッション、閉会式などに利用

- 体育館（アリーナ） 1200 m²（設営、撤去に45万円かかる（発表件数144件の場合））

TP、企業・研究室展示などに利用

TPと企業・研究室展示を一つの会場で行うことができる。また、多数のボードを配置することが可能であり、ポスターを貼り替える必要がない。TPや企業・研究室展示の発表件数が増えても柔軟に対応できる。本学で開催するのに最適な会場候補であるが発表件数が昨年並みの143件の場合、約25万円の予算オーバーになると予想される。（別紙予算表を参照）

第2案（代案）

- 学部共通棟南 2階 8206 講義室（300人教室）

開会式、基調講演やパネルディスカッション、閉会式に利用

- 情報工学部棟 2階 2202 教室, 2203 教室, 2204 教室（各6m×10m）

TPに利用（3部屋で30件の発表が可能）

- 学部共通棟北 2階 8203（7.5m×21m）

TPに利用（20件の発表が可能）

- 学生会館 3階多目的室（260.23 m²）

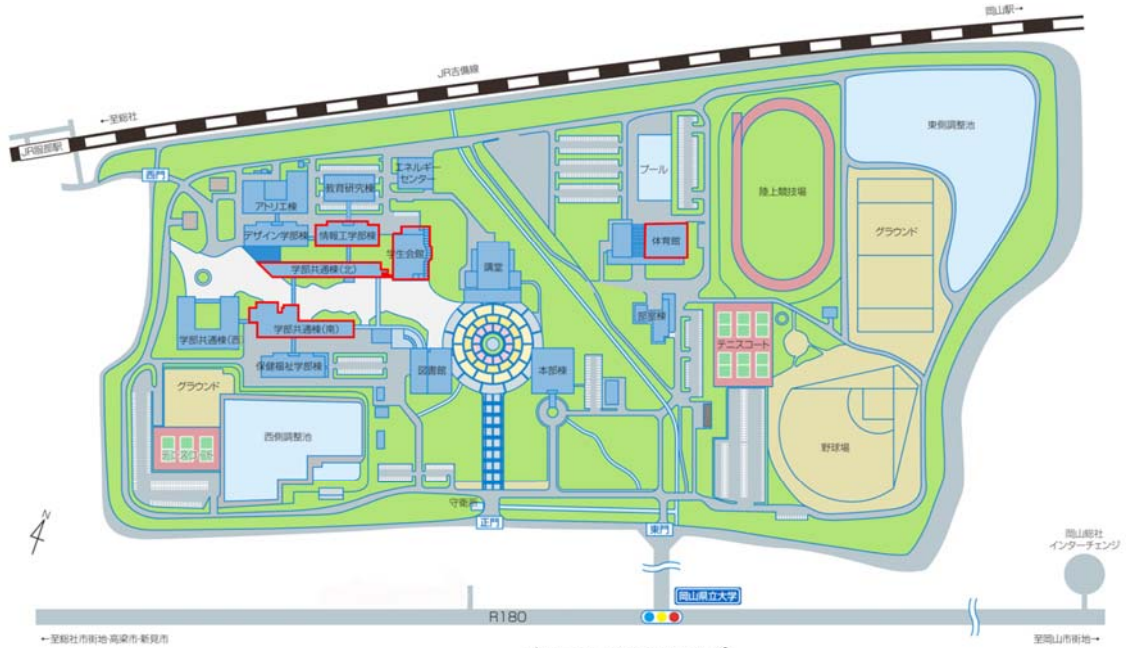
TPに利用（30件の発表が可能）

- 学生会館 2階ラウンジホール（118.94 m²）

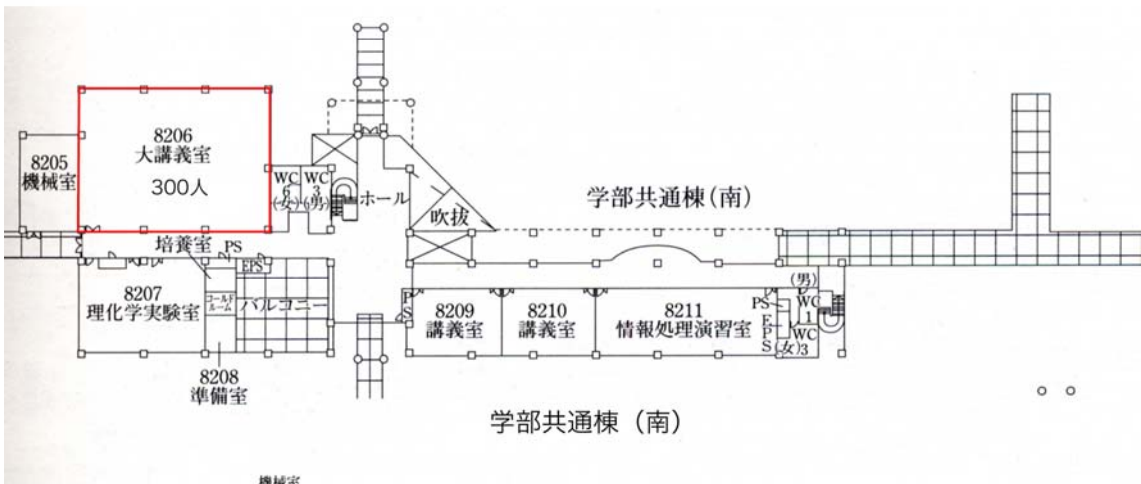
企業・研究室展示に利用

支出を抑えた代案である。講義室を使用して設営を行うので体育館の設営・撤去費45万円は不要になり安価に実施できる。しかし、TP会場が3つの建物に分散する、企業・研究室展示のスペースが狭い、ポスターの貼り替えが必要、TP発表の件数が160件を超えると更にもう一つ別の場所を検討しなければならないという問題がある。

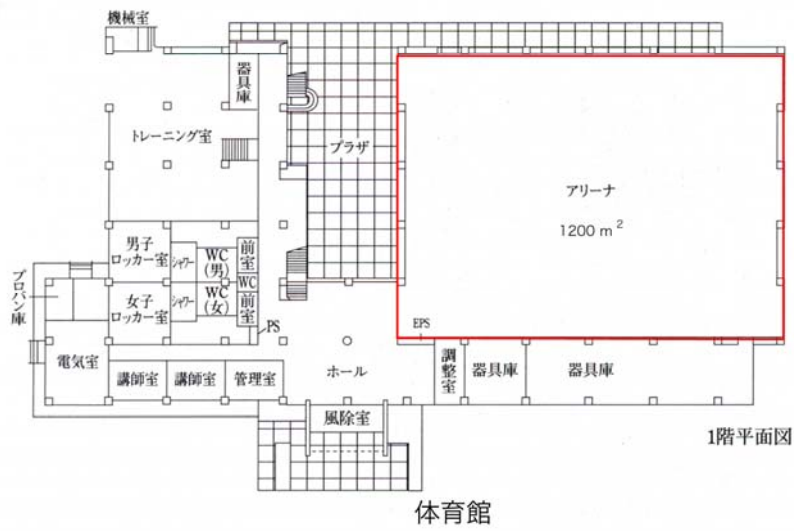
会場配置図 (<http://www.oka-pu.ac.jp/information/campusmap.html>)



キャンパスマップ

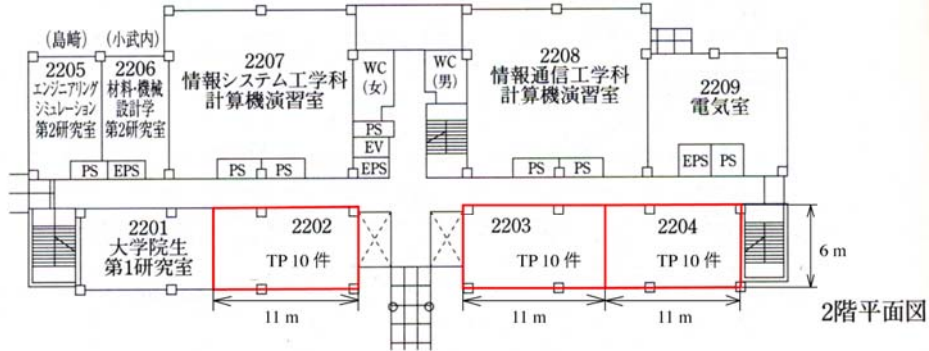


学部共通棟 (南)

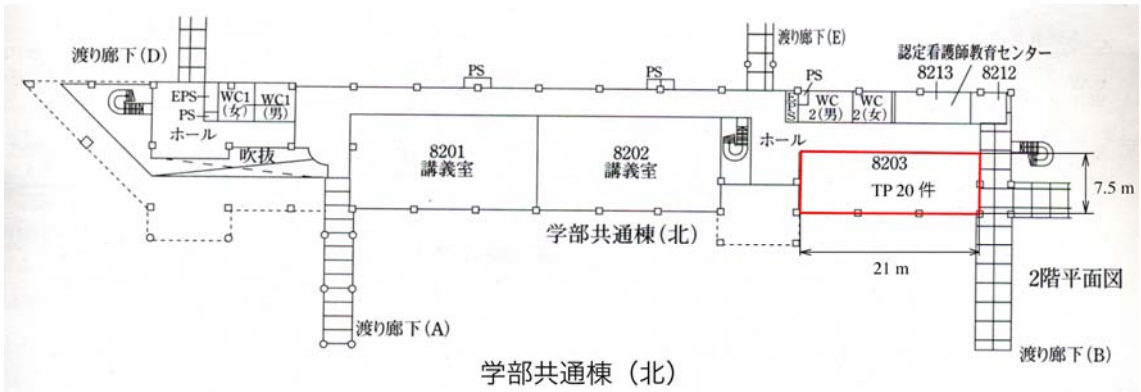


1階平面図

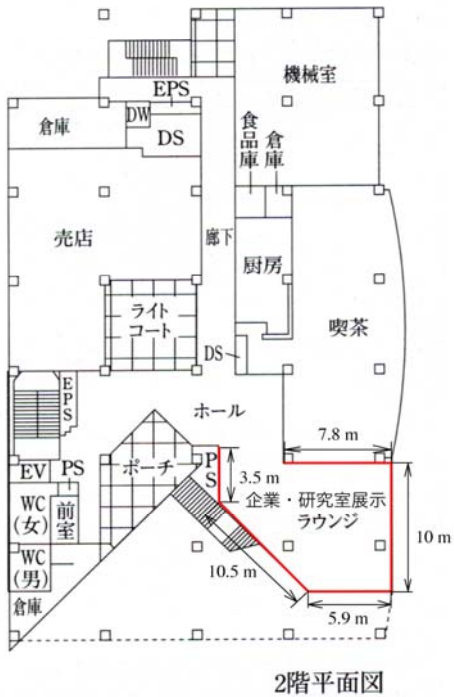
体育館



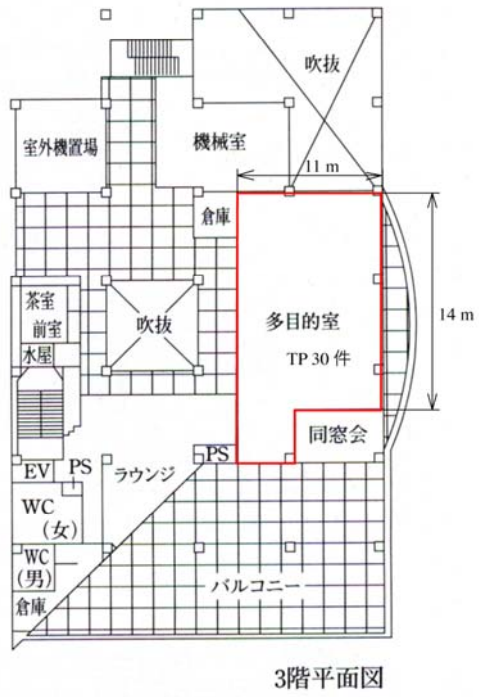
情報工学部棟



学部共通棟 (北)



2階平面図



3階平面図

学生会館

会場第1案で実施する場合の収支の概算見積

収入（概算見積）

IEEE広島支部	¥400,000	
IEEE JC	¥250,000	セクション支援費圧縮で大幅に減額
財団補助金	¥100,000	中国電力技術研究財団申請予定
自治体補助金	¥0	総社市に宿泊しないため補助は難しい。
関連学会支部補助金	¥120,000	昨年度の実績
論文投稿料（143件）	¥493,000	昨年度の実績
学生交流会参加費	¥44,000	昨年度の実績
その他	¥8,500	昨年度の実績
合計	¥1,415,500	

支出（概算見積）

体育館設営撤去費用	¥450,000	発表件数が144件の場合
会場使用料	¥65,000	昨年と同額
レンタルサーバー	¥2,500	昨年と同額
ポスター印刷	¥24,550	昨年と同額
プログラム集印刷	¥94,080	昨年と同額
論文集CD代	¥97,245	昨年と同額
ポスターデザイン料	¥15,000	昨年と同額
傷害保険（実行委員）	¥2,360	昨年と同額
賞状の送料	¥3,450	昨年と同額
外部講師補助費	¥100,000	
体験講義キット代	¥17,955	昨年と同額
郵送費	¥20,000	昨年と同額
雑費	¥75,000	昨年と同程度
図書カード（TP賞）	¥85,000	昨年と同額
学生交流会開催費	¥150,000	昨年より5万円減額
弁当（昼食会、審査委員）	¥60,000	昨年より大幅に減額
実行委員補助費	¥400,000	昨年と同程度
合計	¥1,662,140	

第1案では、約25万円の予算オーバーとなる。